

第5回新型コロナウイルス感染症対策委員会記録

1 会議の日時	令和3年4月27日	開 会 午後 3時 44分 閉 会 午後 4時 55分
2 会議の場所	議会西棟第1会議室	
3 出席者	委 員	45名 (欠席者：小川恒雄委員)
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	議会事務局長 服部 敬 議事調査課長 梅本 雅史 他関係職員	

5 会議に付した案件		
件	名	審査の結果
1	県内の感染状況について	
2	「第4波」非常事態対策について	
3	その他	

## 6 議事録（要点筆記）

### ○小原尚副委員長

ただいまから、第5回新型コロナウイルス感染症対策委員会を開催する。

最初に森委員長より挨拶をいただく。

### ○森正弘委員長

ご存じのとおり、全国的に新型コロナウイルス感染症の第4波が到来し、変異株による感染も急増している中、去る4月23日に、本県独自の「第4波」非常事態宣言が決定され、その対策が4月26日から5月11日の期間で講じられているところ。本日は、こうした現下の県内の感染状況を踏まえ、本県における「第4波」非常事態対策の効果的な推進を図るため、第5回の対策委員会を開催することとした次第である。

### ○小原尚副委員長

それでは、執行部より、説明をお願いします。質疑は、説明終了後をお願いします。

（執行部 挨拶・説明 堀 健康福祉部長）

（執行部 説明 兼松 健康福祉部次長）

### ○小原尚副委員長

ただいまの説明に質疑はないか。

### ○中川裕子委員

本県は自宅療養者ゼロでしっかりと対応していると思うが、「第4波」非常事態宣言で、県内の死亡率が世界や全国平均よりも高いとされている。原因をどう分析しているか。

### ○堀健康福祉部長

世界や全国との差は誤差の範囲と捉えている。ポイントは、年代で死亡率が大きく異なる点である。年齢が上がるに従って上昇し、特に60～80代になると急激に上昇することから、感染の主体が若者から高齢者になることを抑える必要がある。

### ○中川裕子委員

この記載では、その点が分からないため、端的なメッセージをお願いしたい。

### ○中川裕子委員

医療従事者のワクチン接種が進んでいないと聞くが現状と終了見込みについて教えていただきたい。

### ○中野感染症対策推進課ワクチン接種対策室長

ワクチンの供給が遅れており、当初のスケジュールどおりは進んでいないが、本県の接種率は概ね全国平均並みである。5月17日の週までに国から必要なワクチンが供給されると示されており、6月頃を目途に完了を見込んでいる。

### ○中川裕子委員

医療従事者の優先接種が終わらないまま、高齢者の優先接種が始まっており、医療機関が危機感を持っている。国に要望してもらうとともに、情報を県民に提供していただきたい。

### ○長屋光征委員

長良川の河川敷等で多くの方がバーベキューを行っている。県下で増加すると思うが、どのように禁止していくのか。

○鈴木河川課長

県管理の河川や砂防施設、150箇所程度に利用自粛の看板を設置する。明日中に設置を完了する。なお、河川は自由使用が原則であり、バーベキューの禁止は法的に難しい。

○長屋光征委員

後ほど、看板を設置する場所を示した図面等について提供いただきたい。

また、看板だけで収まるのは難しいと考えるので、自粛を求める県民とトラブルにならないように県として考えてほしい。

○長屋光征委員

低所得の子育て世帯生活支援特別給付金は、年収いくらまでの方がもらえるのか。

○安村子ども家庭課長

ひとり親世帯への給付金については、児童扶養手当受給者等に支給する。ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯への給付金については、国で制度を詰めているところだが、令和3年度分の住民税均等割非課税世帯等が対象となる見通し。

○長屋光征委員

案内が遅れて給付金がもらえない、知らなかったということがないように周知いただきたい。

○伊藤英生委員

ワクチンは、居住する市町村以外のかかりつけ医でも接種できるのか。

○中野感染症対策推進課ワクチン接種対策室長

基礎疾患のいくつかの類型に該当し、かつ、かかりつけ医が認めれば接種できる。

○伊藤英生委員

今後、ファイザー社以外のワクチンが出てきたときに、選択できるのか。

○中野感染症対策推進課ワクチン接種対策室長

国から見解が示されていないため、今後示すよう求めている。

○平野祐也委員

大阪府では休校もあるようだが、まん延防止等重点措置実施区域や緊急事態宣言など、いろいろと状況が変わる中で、どのタイミングでどうするのか想定しにくくなっている。県教育委員会として、休校にするにあたり基準等はあるか。

○松本教育総務課長

現場の大変な努力もあり、最近は学校由来のクラスターも発生しておらず、感染防止対策に努めていると考えている。こういった状況の中、直ちに休校にするという考えがあるわけではなく、こうなったら休校という基準は持ち合わせていない。大阪府教育委員会の通知は、休校してオンラインというのではなく、変異株が若者でも感染する可能性が高いことから、学校に行くことが不安である場合に、オンラインを活用したフォローをするようにというものであった。当県においても、議会の理解を得て、オンライン授業のための環境を整えられているため、登校に不安を感じる場合は、同様にオンラインを活

用した学習支援を行うよう各校へ指示をしている。

○平野祐也委員

スポーツ大会について、原則無観客で実施と示されている。しかし、競技、市町村、学校によって、曖昧な部分があるように思う。練習試合は中止とするなど情報が錯そうしているように感じる。無観客であれば実施可能と捉えて良いか。

○松本教育総務課長

全国大会の予選など公式戦の場合は、主催団体において、この対策に基づき感染症対策を実施し、開催の可否を判断されることになる。無観客とするなどの対策がとられており、開催される公式戦には参加することになる。一方、練習試合については、この対策の中で、他県への移動やまん延防止等重点措置区域への移動の自粛を求めているところであり、これらを考えると練習試合の開催は困難かと考えている。現在は、練習試合等の開催が盛んな時期ではなく、基本的には対外的な練習試合は行わないよう各校に話をしている。

○川上哲也委員

アクリル板等の遮蔽物を設置するにあたり、いくつかポイントがある。まず、早く設置できるよう、遡及して補助すること。また、どういうものを設置すると良いか、ポイントを示すこと。さらに申請について簡素化することをお願いしたい。

○後藤感染症対策調整課長

補助は4月1日まで遡って対象とする。設置の方法については、見回り調査の際に、アクリル板に関しても市町村とQAを共有しながら進めており、その中で進めていきたいが、県議からもご意見をいただければ反映していく。申請は、レシートを基に実費でお支払いする。市町村は介さない。

○川上哲也委員

QAについては、県民にオープンにすることを検討いただきたい。

○後藤感染症対策調整課長

先生のご意見も踏まえ、検討させていただく。

○山本勝敏委員

まん延防止等重点措置が適用された場合、「第4波」非常事態対策に加え、どのような措置が取られるのか。

○後藤感染症対策調整課長

まん延防止等重点措置が適用された場合の対策について、100パーセントではないが、基本的にはほぼ網羅していると考えている。一番新しい対処方針では、酒類の提供について、知事の判断で制限等がかかることができるようになってきているため、東海3県で先行している愛知県等、他県の状況を見定めながら検討してまいりたい。また、鉄道の終電時刻を早めることも対処方針に謳われているものの、手付かずであるため若干残っているものもある。

○山本勝敏委員

「コロナ社会を生き抜く行動指針」のエアコンによる換気について、換気機能の付いたエアコンは、一般的にそれほど普及していないと思われるため、エアコンを使用していれば、換気できていると誤解

を招く表現を修正してはどうか。

○後藤感染症対策調整課長

ご指摘を踏まえ修正する。

○森治久委員

大型連休以降のイベント中止について、市町村から質問があった場合、県として統一的な通知はしているのか。

○後藤感染症対策調整課長

相談に対する回答のなかで、今後の感染状況を注視し開催に臨むよう通知している。

○森治久委員

県からの統一的な見解や決定はないのか。

○後藤感染症対策調整課長

相談があった場合には、慎重に判断するように伝えている。

○水野吉近委員

協力金の支給対象となる9市の選定基準は何か。

○後藤感染症対策調整課長

定性的な言い方になるが、変異株の発生状況や新規感染者数から総合的に判断し、9市を選定した。

○水野吉近委員

今後、対象を追加することはあるか。

○後藤感染症対策調整課長

今のところは現行9市でお願いしたいと考えている。

○水野吉近委員

協力金の支給手続きは、いつ頃発表になるのか。

○北村商工政策課経済・雇用再生室長

協力金としては第5弾になる。第4弾と申請要件は変わらないが、売上の規模に応じて支給額が変わる点が大きく異なる。申請には、今年の4、5月の売上額の確認が必要になるため、6月に入ってから申請開始予定であるが、必要書類等についてはなるべく早めにお示ししたい。

○水野吉近委員

申請開始時期等、できるだけ早くホームページで示していただきたい。

○布俣正也委員

今日の朝刊で、白川村の初の陽性患者が富山県で集計される旨の記事を読んだ。こういった整理で県外として集計されるのか。

○堀健康福祉部長

県外医療機関の受診または県外での行政検査実施により陽性が判明した方のうち、県内の医療機関で入院調整を行う場合は、県外事例として整理される。

○伊藤秀光委員

ワクチンの接種会場が遠方の場合、接種に向くのが難しい高齢者もいる。県民に寄り添ったワクチ

ン接種体制を検討していただきたい。

○中野感染症対策推進課ワクチン接種対策室長

高齢者向け接種の会場は基本的には市町村が用意するものであり、面積が広い市町村では、例えば、旧市町村単位での集団接種会場の設置、個別の診療所での接種体制整備等の対応を行っている。個別の困りごとについては、県からも市町村へ情報提供し、対応を検討いただくよう働きかけていく。

○尾藤義昭委員

飲食店におけるアクリル板の購入支援のみを実施し、手指消毒液及び体温計の購入経費を支援対象外とする理由は。

○後藤感染症対策調整課長

国の補助制度に消毒液などの購入費補助制度は既にある。これに加えて、マスク会食の徹底が難しいという県内飲食店の声があることから、飛沫感染防止に直接つながるアクリル板の購入費用を県として直接的に助成する。

○尾藤義昭委員

ワクチン接種の予約受付に関して県民に混乱が生じないように、県として市町村にどのように働きかけているか。

○中野感染症対策推進課ワクチン接種対策室長

予約受付開始時の混乱回避のため、予約の案内を年齢区分別に行う、要介護認定を受けている方を優先的に受け付ける等の対策を検討するよう市町村に働きかけている。

○尾藤義昭委員

接種予約が開始されれば、大きな混乱が生じることは明らかであるため、県として市町村に対する対策の徹底を呼び掛けるべきではないか。

○中野感染症対策推進課ワクチン接種対策室長

各市町村が設置している相談窓口において個別丁寧な対応を徹底するよう、改めて市町村に依頼する。

○小原尚副委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって、第5回新型コロナウイルス感染症対策委員会を終了する。

## 第5回 新型コロナウイルス感染症対策委員会 配席図

令和3年4月27日(火)午後4時から  
議会西棟 3階 第1会議室

清水 都市公園課長		鈴木 河川課長	山田 環境生活政策課長		松本 教育総務課長兼 教育対策調整室長	大川 地域スポーツ課長		青木 文化創造課長		安村 子ども家庭課長		野中 感染症対策推進課 管理監		森島 感染症対策推進課 管理監
--------------	--	------------	----------------	--	---------------------------	----------------	--	--------------	--	---------------	--	-----------------------	--	-----------------------

北村 商工政策課 経済・雇用再生室長		高橋 外国人活躍・ 共生社会推進課長	深見 高齢福祉課 高齢者生きがいづくり 推進監		関谷 障害福祉課長		赤尾 保健医療課長兼 健康増進室長			中野 感染症対策推進課 ワクチン接種対策室長			加藤 感染症対策推進課 医療・検査体制対策室 長	
--------------------------	--	--------------------------	----------------------------------	--	--------------	--	-------------------------	--	--	------------------------------	--	--	-----------------------------------	--

	桑田 商工政策課長			後藤 感染症対策調整課長			伊藤 医療整備課長			板津 財政課長			子林 人事課長	
--	--------------	--	--	-----------------	--	--	--------------	--	--	------------	--	--	------------	--

	兼松 健康福祉部次長		長沼 健康福祉部次長			堀 健康福祉部長			箆橋 健康福祉部次長			大野 健康福祉政策課長	
--	---------------	--	---------------	--	--	-------------	--	--	---------------	--	--	----------------	--

議	員	席
---	---	---

議長  
副議長  
議会  
事務局長